

エンジニアパーク

Engineer



真田 慎一 建設部門（土質基礎）／総合技術監理部門 勤務先：(株)竹中土木

E-mail : sanada-s@takenaka-doboku.co.jp

私は1959年に流水の町、雄武町で生まれました。以来、大学卒業までオホーツクが私の生活圏でしたが、卒業後現在の会社に入社してからは建設現場が職場となり工事と共に全国を歩く身となりました(ホームグラウンドは北海道にあります)。高速道路工事が私の社歴の半分以上を占め、あえて自信の持てる分野と言われますとそれが唯一の分野かと思えます。建設現場には幸か不幸か問題(試練の場)が必ずあるものですから、逃げようもなく取り組んで来たことが身になってきたのでしょうか、一人の力ではもちろん不可能なことで、いつの時も様々な人との出会いに助けられて生きてきたと実感しています。現場はいつも変化し、試練が続いているのが現状です。

昨今、国内の建設市場が縮小していくことは避けがたい時流です。特に北海道ではその影響は深刻であり、私自身の職場でも危機感は身に迫るものがあります。「来るべくして来た時代なのに何を今更……。我々ももっと早くから死活の世界を生きてきた。」とは、他の業界の方からの叱咤激励のお言葉です。今まで与えられた工事を完成させることで社会に貢献し、それが達成感の源でしたが、これからは自ら一步踏みだし違うフィールド(職制)で創造に携わろうと思っています。どんなフィールドでもタフで真摯に取り組むのが私のモットー。どこかでお会いしましたら気軽に声を掛けていただければ幸いです。



次号は、杉山盛行さん(水産部門)



豊谷 勝雄 応用理学／総合技術監理部門 勤務先：マツコンサルタント(株)

TEL (011)684-1667 E-mail : ktatami50@ybb.ne.jp

未だに『地球物理：海洋』専門が道内でただ1人の豊谷です。

2000年4月、パスコを退社しマツコンサルを立ち上げました。低迷する北海道経済の活性化に役立ちたいと考え、(M) Marine (A) Agriculture (T) Tourismの主要産業3文字から社名を導きました。海洋調査、漁業GIS、観光振興によるまちづくり戦略など、多くの皆様に支えられながら細々と業務をこなしています。

さて現在の技術士活動は、地域産業研究会と北方海域技術研究会で幹事をしています。研究会終了後の「呑み会」での意見交換が楽しみで活動を続けているのが本音ですが、54才ともなりメッキリ弱くなりました。地域産業研究会では、寿都町で「美しい海づくり研究」と題して、まちの人々と一緒に海、川、森、都市・農地を各グループごとに独自調査して利用方を提案し、まちの人々と話し合っています。また北方海域技術研究会では、道内外やサハリンなどの研修旅行を機に見聞を広めています。

実際に行って、話して、考えて、動いて、感じる事がコンサルの原点と思っています。

これからのコンサルは、自分ができること、そしてできることを通して何をすべきか! をいつも考えている様々な分野の人が結集し、連携しながら活動して社会貢献や企業貢献をすることが必要です。

こんなことを考えながら、生活するための仕事と会社継続に向け取り組んでいます。



次号は、若林隆司さん(水産/建設部門)